



申請はお済みですか？ 子育て世帯への臨時特別給付金

10万円

0歳から18歳までの児童（平成15年4月2日以降出生）を養育する人へ、児童1人当たり10万円の給付金を令和3年12月から支給しています。

申請が必要な人 令和3年9月30日時点の養育者住所地に申請してください。

- 児童手当を受給していない世帯で、平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた児童を養育する人
- 公務員児童手当受給者
- 令和3年10月1日から令和4年3月31日までに生まれた新生児を養育する人

※申請について不明な点は下記にお問い合わせください。

申請期限

令和4年3月31日休日まで

（令和4年3月18日以降の出生児分は、出生届提出期間まで）

制度の詳しい内容は市ホームページでも確認できます。



市ホームページ

圏福祉課 子育て支援係 ☎ (22) 3167

子育て相談日

保 健師・管理栄養士・臨床心理士などがお子さんの成長に合わせたアドバイスをを行います。

と き 3月4日(金)・18日(金)
午前9時～午後2時

と ころ 一の宮保健センター

圏ほけん課健康増進室 ☎ (22) 5088



2/8

草原再生オペレーター組合に荣誉

九州農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定



宮崎英雄組合長（中央）と事務局の中坊真さん

農林水産業の活性化に向けて地域資源を活用した優れた取組みを選定する九州農政局「ディスカバー農山漁村の宝」(コミュニティ部門)に草原再生オペレーター組合(宮崎英雄組合長)が選定され、市長に報告しました。同組合は市内の畜産農家や施設園芸農家11人で構成。約160ヘクタールにおよぶ未利用草地の草を採草・販売することで、草原保全と野焼きの危険性の軽減、野草の利用に貢献しています。

1/18

継続した取組みに評価

おごもり花公園に熊日緑のリボン賞



おごもり花公園のメンバー

熊本日日新聞社が、県内で社会奉仕や環境美化に取り組んでいる人たちを表彰する「熊日緑のリボン賞」が決まり、おごもり花公園(菅乃保留)が選ばれました。古城7区の住民15人からなる同団体は、平成8年の発足以来、地区を流れる黒川沿いへのコスモスの植栽を継続。昨年は約3万株のコスモスが咲きました。菅会長は「若い人にも参加してもらえたら」と世代を超えた活動へ期待を寄せました。

情報モラル・セキュリティ作品受賞作品決定

阿蘇テレワークセンターでは市内在住の児童・生徒とその保護者、先生を対象に情報モラル・セキュリティの大切さをテーマにした標語を募集しました。

小学生部門 最優秀賞

いわないで
ここにどびら
パスワード
内牧小1年
内野 心結奈

中学生部門 最優秀賞

パスワード
知られてしまえば
パスワード
阿蘇中学校2年
古川 響平

先生部門 最優秀賞

学びの相棒タブレット
天使か?悪魔か?
あなた次第
阿蘇小学校
古川 忠司

小学生部門39件、中学生部門59件、先生部門9件の応募の中から25件の受賞作品が決定しました。受賞者には賞状および賞品が手渡されます。

優秀賞(氏名のみ)

小学生部門
内牧小3年 吉並 光
内牧小5年 西田 由菜

中学生部門

阿蘇中1年 村上 萌々果
阿蘇中2年 佐伯 桜河

先生部門

内牧小 牛島 由紀雄
その他主催者・教育委員会賞を17人が受賞。



全国大会等出場者と結果

●テコンドー 🏆

(1.23 / 滋賀県大津市)

第15回全日本テコンドー選手権大会

【規定pumse カデット男子 2位】

佐藤 響 (一の宮中2年)

【フリースタイルpumse カデット男子 優勝】

佐藤 響 (一の宮中2年)

【規定pumse U30 男子 優勝】

佐藤 太一 (翔陽高校2年 / 一の宮中出身)

【フリースタイルpumse U30 男子 2位】

佐藤 太一 (翔陽高校2年 / 一の宮中出身)

Join us!

Vol.9
Conclusion

SCHOOL FOR EVERYONE

学校へ行こう、地域に学ぼう。

地域全体で子供たちの学びや成長を支え、

学校を中心として地域づくりを行う。

そんな**地域学校協働活動**について紹介します。

ま と め

6月号から、9回にわたり各学校の地域学校協働活動について紹介してきました。

最後となる今回は地域学校協働活動の1年を振り返ります。



令和3年10月16日、一の宮小の地域学校協働活動の一環として
5、6年生が阿蘇神社の楼門修復現場を見学しました。

コロナ禍での 地域学校協働活動

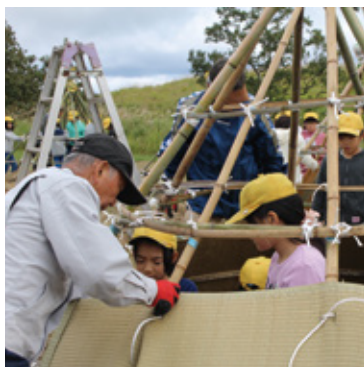
地域学校協働活動は、地域の皆さまの協力を得て、子供たちの成長を支え、地域を元気にする活動です。

本年度のこの活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けながらの実施となりました。小学校低学年を対象にした「放課後子供教室」や、中学生を対象にした「地域未来塾」では予定の回数が実施できなかった学校がありました。読み聞かせやフッ化物洗口、地域体験活動や避難訓練などを実施できなかった学校もありました。

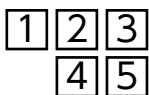
始まった

新たな取り組み

そのような中、学校運営協議会が主導した新たな



- 1 保護者向けの家庭教育支援
- 2 内牧小の草原体験学習
- 3 阿蘇小の阿蘇っ子見守り隊
- 4 波野小の農業体験活動
- 5 阿蘇西小の梅の木剪定



な地域学校協働活動も生まれました。学校運営協議会は、地域住民や保護者の代表が、学校の課題解決に向けて話し合う機関です。

阿蘇小では、交通量の増加に伴い児童の登下校時の安全確保が必要となり「阿蘇っ子見守り隊」を組織しました。学校と学校運営協議会の呼びかけに160名もの人々が賛同し、12月22日から活動を始めています。

一の宮小では「地域を知り、地域に愛着を持つ子供」を育むために、5、6年生が、今しか見られない阿蘇神社の楼門修復現場を見学しました。

阿蘇西小では、全校見学遠足を実施し、校区の名所「蛇石神社」を見学し、説明を聞きました。

さらに、全ての中学校で、学校運営協議会と生徒会役員による意見交流会が実施または実施予定となっています。生徒の考えを学校運営に生かす

みなさんも知識や経験を生かしてみませんか？

ことで、生徒の主体性が引き出され、意欲的に学校生活を送ることが期待されます。

地域学校協働活動

地域学校協働活動は、子供たちの未来を生き抜くために必要な資質・能力を身に付けさせるために、なくてはならない活動です。

地域の皆さまにとっても、子供と関わることは生きがいづくりの一助となり得ます。子供よし、地域よしの地域学校協働活動を通して「誰もが子供を育む当事者」という意識が市民全体に広がることを願っています。

これから、学校・地域・家庭・行政・子供の5者が連携・協働した地域学校協働活動を構築していきます。引き続き、地域学校協働活動への協力をお願いします。